

【論文タイトル】

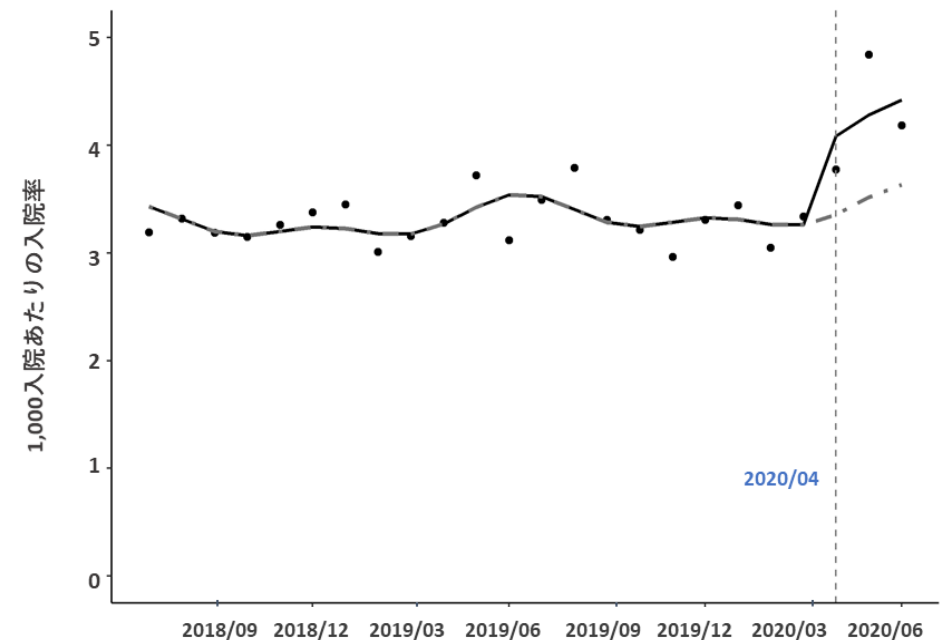
Itoshima H, Shin JH, Takada D, Morishita T, Kunisawa S, Imanaka Y.

The impact of the COVID-19 epidemic on hospital admissions for alcohol-related liver disease and pancreatitis in Japan. *Sci Rep.* 2021;11(1):14054. Published 2021 Jul 12. doi:10.1038/s41598-021-92612-2

【論文概要】

- 全国多施設（QIPプロジェクト）で精査したところ、COVID-19禍の自粛期間中、アルコール関連肝疾患・膵炎の1,000入院あたりの入院率が1.2倍増加していた。
- アルコール関連肝疾患・膵炎の入院率は女性で特に増加していた。
- 自粛期間中の飲酒についてはよく注意する必要があるだろう。

図1. アルコール関連の肝疾患と膵炎による1,000入院あたりの月別入院率



実線: 今回のデータに基づいたモデルをあてはめたもの

破線: 同じモデルにおいてCOVID-19の流行が起こらなかった場合の予測